

講義名	読書力		
科目区分	教養一般		
担当教員	藤原 喜美子		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	32026

### 主題と概要

この講義の目的は、読書を通して本に慣れ親しみ、その本の要点を読み解く力を養うことにある。書籍からは様々な情報が私達に発信され、その一冊の本には著者の色々な思いが込められている。

そこで、教科書や課題図書を選材にして、そこに記された内容の中から時間ごとにテーマを選び、選んだテーマの内容を話し合いながら講義を進める。

講義では、教科書や課題図書を皆で読み、「読む力」を養う練習を行う。また、そこから読み取れた事柄や自分の感想を文章にまとめ、「書く力」を養う。さらに、講義中は、受講生が会話をしながら、ディスカッションを行うことがある。お互いに意見を交換しあうことで、「聞く力」を養う。このようにしながら「文章を読む」ということに対して、読解力や向学心を育てていきたい。

### 到達目標

教科書や課題図書を読みながら本に慣れ親しみ、本の中で興味のあるテーマについて自分の感想や考えを述べることができるようになる。

### 提出課題

1. 講義では、毎時間、小レポートおよび感想文の課題を提出してもらう。
2. 学期末には、レポート試験を実施する。課題の詳細は、別途指示する。

### 評価の基準

講義中の発表や小レポートまたは感想文(60点)、学期末のレポート試験(40点)を総合して評価する。講義中のディスカッションへの参加はプラスポイントとするので、積極的な参加を期待する。

### 履修にあたっての注意・助言他

1. 【重要】1回目の講義から、教科書を使用する。  
そのため、1回目の講義までに教科書を各自で購入し、教科書は必ず持参すること。  
教科書は、教科書購入期間に、必ず購入しておくこと。
2. 教科書の他に、課題図書(大学の図書館が所蔵、新書版または文庫本)を使用する。  
課題図書の貸出・返却の手続きは、各自が図書館で行うこと。  
各時間に使用する課題図書(書名)は、1回目の講義で指示する。
3. 事前に課題図書を読んで、予習を必ずしておくこと。
4. 本に慣れ親しみ、積極的に読書する習慣を鍛えてもらいたい。

### 教科書

『読み上手 書き上手』(ちくまプリマー新 齋藤孝 筑摩書房 800円+税 ISBN978-4-書076).
---

### プリント資料及び参考文献

プリント資料は、必要に応じて配布する。  
参考文献は、講義中に適宜紹介する。

### 授業計画

1. 「読書力」とは  
読書に慣れ親しむということ
2. 読書を考える  
言葉を知る
3. 読書を考える  
伝える力を養う
4. 読書を考える  
記録と記憶の技術
5. 読書を考える  
読む技術
6. 読書に親しむ  
民俗学への招待(1)
7. 読書に親しむ  
民俗学への招待(2)
8. 読書に親しむ  
民俗学への招待(3)
9. 読書に親しむ  
日本文化のルーツを探す(1)
10. 読書に親しむ  
日本文化のルーツを探す(2)
11. 内容を理解する  
地域の特性
12. 内容を理解する  
日本の生業
13. 内容を理解する  
人間社会と自然のバランス
14. 内容を理解する  
日本の生活文化
15. まとめ  
読書を習慣化することの意味

### 予習・復習

予習・復習..教科書と課題図書については、各自が時間を見つけて、その都度、本を読んでおくこと。予習・復習を通して、読書をする姿勢に慣れていただきたい。

### 備考

それぞれの課題図書を読む時は、各自が興味のあるテーマを探しながら読んでもらいたい。読む時のポイントは講義中に紹介する。